

509.19-D25-3㊦



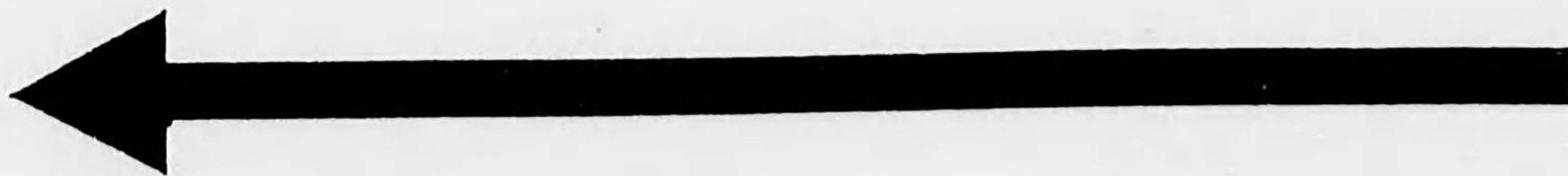
509.19
D25
3

報指導資料
第十三輯
懇談機關ノ運営指針

大日本産業報國會編



始





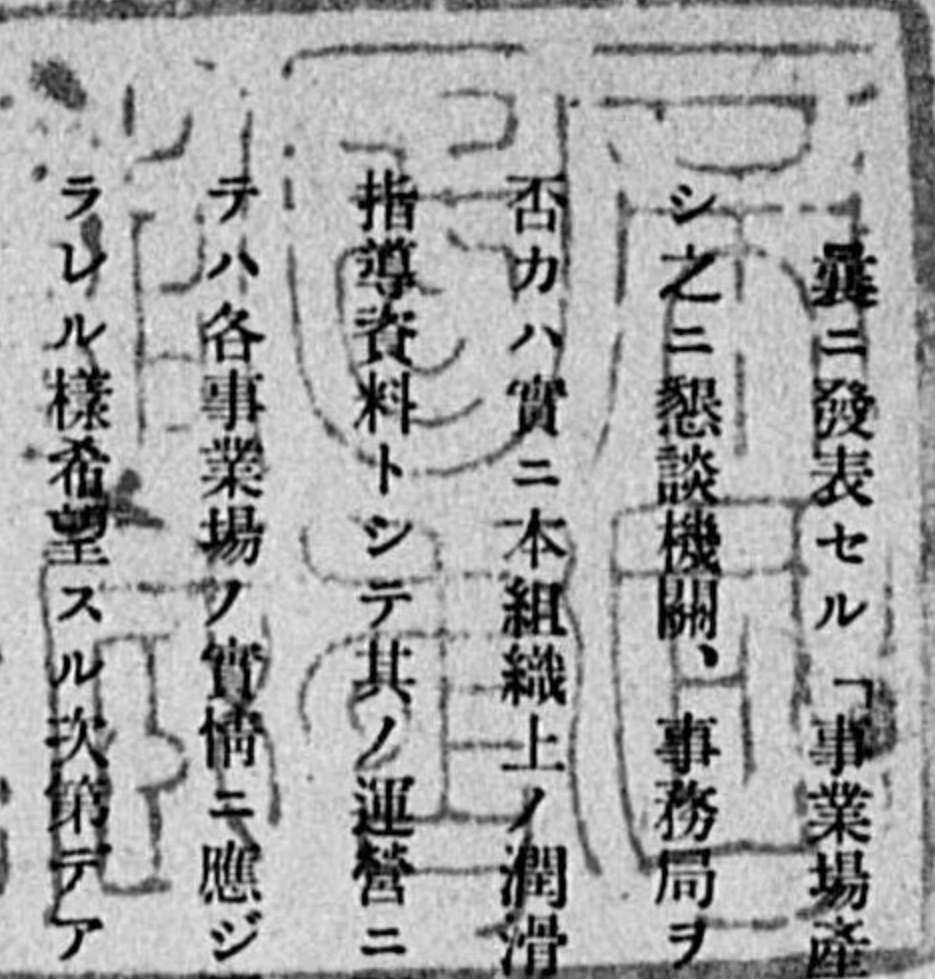
昭和十六年十二月
産報指導資料第十三輯

懇談機關ノ運営指針

大日本産業報國會

509.19
D25
3

はしがき



茲ニ發表セル「事業場産業報國會組織整備要綱」ニ基キ各事業場産業報國會ニ於テハ目下部隊組織ヲ基軸トシ之ニ懇談機關、事務局ヲ併置シ、全面的整備ヲ急ギツ、アルガ、コノ新勤勞機構ガ充分ニ機能ヲ發揮スルカ否カハ實ニ本組織上ノ潤滑油トモ謂フベキ懇談機關ノハタラキ如何ニ存スルト言ツテモ過言デハナイ。茲ニ同指導資料トシテ其ノ運営ニ關スル要點骨子ヲ概述シ、以テ中央本部ノ基準的方針ヲ明カニスル。勿論細部ニ就テハ各事業場ノ實情ニ應ジ更ニコノ指針ヲ生カス可キ創意及工夫ヲ凝ラシテ各産業報國會ノ健全ナル發展ヲ圖ラレル様希望スル次第デアアル。

尙本部既刊ノ指導資料ハ何レモ參考トセラルベキデアアルガ就中第八輯「組織整備要綱解説」竝ニ第九輯「五人組設置要領」ハ必ず併讀セラレ度イ。

昭和十六年十二月

大日本産業報國會中央本部

209.19
D25
3

懇談機關ノ運營指針

一、懇談會及組常會ノ本質

- 1、懇談機關ハ全會員ヲ職分奉公ノ實ヲ舉グル目的ヲ以テ勤勞ニ關スル一切ノ事項ニ付懇談ヲナス爲
部隊組織ノ必要ナル段階ニ設置セラルル機關ナルコト。
- 2、懇談機關ハ上意ヲ下達シ下情ヲ上通シ、以テ指揮者ノ指導的任務ト一般會員ノ建議的機能ヲ果シ、
部隊組織ノ運營ヲ圓滑ナラシムル機關ナルコト。
- 3、懇談機關ハ全會員ヲ教育訓練シ會員相互ノ啓發ニ依リ切磋琢磨スル機關ナルコト。
- 4、懇談機關ハ要スルニ全會員ノ人格的融合一體ヲ顯現スル團結親和ノ機關ニシテ所謂決議機關ニモ
アラス又單ナル諮問機關ニモアラザルモ時ニ依リテハ申合セ機關トナリ又諮問機關タルコトアリ。
懇談機關ガ以上ノ本質ヲ有スルコトノ當然ノ歸結トシテ懇談機關ニ於テ懇談セラルベキ事項ハ「職
分奉公ニ必要ナル一切ノ事項」ニシテ勤勞者ノ創意ト能力ガ高度ニ發揚サレルコトヲ要スルコト。

二、懇談會ノ開催

1、懇談事項ノ提出方法

懇談事項ノ提案方法ニハ會長(本部)提案、座長提案及委員提案ノ三種アルモ懇談機關ノ本質ヨリシテ、其ノ何レノ一方ニモ偏スルコトナク、提案セラルベキモノナルコト。

2、懇談時間ト就業時間

懇談會ハ就業時間中ニ於テ爲スベキヤ又時間外ニ於テ行フベキヤハ、就業時間ノ長サ、作業ノ種類、委員ノ作業ノ指導上占ムル地位其他ニ依リ其ノ時ノ事情ニ依リ決定セラルベキモ就業時間後開催スル場合ニ於テハ懇談時間ヲ直チニ就業時間ト看做シコレニ必ズ賃金ヲ支給スベシトスルガ如キハ一考ヲ要スベク寧ロンノ公的性質ニ鑑ミ必要ニヨリ夕食等ヲ支給スルヲ可トスルコト。

但就業時間中ニ行フ場合ハ就業時間ト看做シ所定ノ賃金ヲ支拂フカ又ハ別途補償給與ヲ考慮スルコト。尙懇談時間ハ大體二時間程度トナスベキコト。

3、懇談會ノ適當ナル開催度數

懇談會ノ開催度數ハ事業場ノ規模ニヨリ異ナルベキモ、下部懇談會ハ月一回、上部懇談會ハ二―三月一回、總懇談會ハ三―四月ニ一回ヲ最小限度トスルコト。

4、懇談會開催準備

イ、懇談會ヲ開催セントスルトキハ懇談會ノ開催ヲ各委員及關係會員ニ周知セシメ委員提案ノモノニ付テハ豫メ其ノ提出ヲ求ムルコト。

ロ、開催日時、場所、懇談事項、出席者等ハ前以テ指揮者及事務機關ヲ經テ會長ニ届出デシムルコト。

ハ、懇談事項ハ會長(本部)提案、座長提案、委員提案タルヲ問ハズ前以テ各委員ニ配布シ熟慮セシメ置クコト。

三、懇談會ノ運営方法

1、開會ニ先立テ國民儀禮綱領朗讀等ヲ行フコト。

2、座長挨拶ノ後議案提案者提案理由説明ノ上懇談ニ入ルコト。

3、座長ハ公平無私、出來得ル丈全員發言ノ機會ヲ與フル様意ヲ用ヒ一部委員ノ獨壇ニ陥ラシムルコトナク他ニモ發言ヲ求メ充分意ヲ盡サシムルコト。

4、座長其他ノ責任者ハ一人芝居ニ陥ルコトナク、座長ハ統裁者タルコトノ立場ヲ自覺シ全委員ノ氣

812
297

持ニ融ケ込ミ平易ナル語ヲ以テ指導的且建設的ニ懇談ヲ遂グルコト。

5、統裁ノ方法トシテハ座長ハ各委員ノ意見ヲ平均的ニ結論付ケルコトナク、全出席者ノ發言ノ要旨ヲ擷ミ自己ノ正シキ信念ト責任及權威ニ於テ、採ルベキモノハ採リ、捨テルベキモノハ捨テテ、之ヲ統裁シ多數決等ノ形式ニ依ラザルコト。

四、懇談會ノ處理

1、各懇談會ノ座長ハ衆議統裁ノ方法ニ依リ採擇、研究、考慮及上申等ノ結論ヲ與ヘ、其ノ經過及意見ハ文書ニヨリ一部ハ上級指揮者ニ、一部ハ事務機關ヲ經テ會長ニ報告スルコト。

2、一般會員ニハ揭示、機關紙又ハ指揮者ヨリ周知セシムルコト、從テ各懇談會ニ於テ懇談サレタル内容ニ付テハ各出席者ハ濫リニ口外セザルコト。

五、上部懇談會ト下部懇談會

上下及同位ノ各懇談會ハ各々獨立ノ機能ヲ有ス、從テ原則的ニハ下部懇談會ニ附議セラレタル事項ハ總テ之ヲ上部懇談會ニ附議スルコトノ趣旨ニアラズ、但シ上級指揮者ガ上部懇談會ニ附議スルノ要アリト認メタル事項ニ付テハコノ限リニアラザルコト。

六、事務機關ト懇談會トノ關係

1、事務機關ハ各懇談會ニ關スル事務ノ統轄ニ當ルコト。

2、各懇談會ニ於テ協議上申セラレタル事項ニ付キ更ニ之ヲ檢討審議シ、之ガ處理ニ當ルコト。右ノ處理狀況ハ當該懇談會ノ座長ニ報告スルコト。

七、組常會ノ運營

組常會ノ運營ニ關シテハ產報指導資料第九輯「五人組設置要領」ニ據ルノ他前記各項ヲ準用スルモノトスルコト。



昭和十六年十二月二十日 印刷
昭和十六年十二月廿五日 發行

非賣品

製本控

912 冊 297 號 年 月 日

產報指導資料第13輯

備考

電話九段 (33)
二二〇
七三四
五四七
七四九
番番番



東京市神田區神保町二丁目一七番地
山本雄二郎
山田三郎太
印刷所
凸版印刷株式會社

昭和十六年十二月二十日 印刷
昭和十六年十二月廿五日 發行

非賣品

編輯兼發行人 山本雄二郎
東京市神田區神保町二丁目一七番地

印刷人 山田三郎太
東京市下谷區二長町一番地

印刷所 凸版印刷株式會社
東京市下谷區二長町一番地

發行所 大日本產業報國會
東京市神田區神保町二丁目一七番地

電話九段 (33) 〇四七九番
二三四四番
二七五七番

509.19
D 25
3

終